

大きくしたら面白い 昆虫の不思議

自然博物館 館長 荒屋 健治

● どんな工作・実験なの？

普段、見逃してしまうようなミクロの世界。

そこに着目し、ルーペや虫めがね、デジタル顕微鏡を用いて観察してみよう。

いったい何が見えるのか？

気づいたことを記録しよう。

● 用意するもの

ルーペや虫めがね、デジタル顕微鏡（パソコン等に接続し、モニターに拡大して映し出すことで、対象物を観察できる顕微鏡）

主なサンプル

①トンボなどの虫、②羽、③植物の花等）



● 工作・実験のしかたとコツ

デジタル顕微鏡の場合

①ステージに乗せ、見たい位置にあわせる。

②次に調節ネジを回し、ピントを合わせるだけ。

③厚みのあるものは、ピントの合う幅が狭いので、ピントをずらして観察しよう。

● 気をつけよう

目をいためるので、日光が直接当たるところでは使わない。

デジタル顕微鏡の場合

対象物が、レンズに触れないように気を付けよう。

運ぶ時は両手で持とう。

● もっとくわしく知るために

気づいたことを記録しよう。

